

九州キリスト教社会福祉事業団 事業団だより

(発行)

社会福祉法人
九州キリスト教
社会福祉事業団

〒871-0162
大分県中津市永添2744
「いずみの園」内

電話 (0979)23-1616(代)

E-mail:
sogocare@deluxe.ocn.ne.jp

「世界一の長寿国・日本」

社会福祉法人

九州キリスト教社会福祉事業団

理事長 富永健司



2015年7月の厚労省の資料によると日本人の平均寿命は男性が80・50歳、女性は86・83歳となり世界一の長寿国となりました。1960(S35)年の平均寿命は男性65・32歳、女性70・19歳、さらにさかのぼって1947(S22)年は男性50・06歳、女性53・96歳でしたからこの68年間で男性が30歳、女性が33歳長寿化したこととなります。世界が目指す日本の長寿要因は医療や健康診断の進歩、国民皆保険、社会保障制度の充実、日本人の食生活、良好な栄養などが挙げられているようです。欧米諸国に比べて脂肪の摂取量が飛びぬけて少なく、魚や大豆製品の摂取も多い。カテキンやビタミンCが豊富な緑茶は動脈硬化や癌を防いでいるという説もあります。平均寿命、男性85歳、女性90歳という時代もそう遠くはないかも知れません。

最近、「2015年問題」、「2025年問題」という言葉がつかわれ研究されています。団塊の世代(S22)24生)が2015年に高齢期65歳に入り、2025年には75歳後期高齢期に達する年です。2015年の後期高齢者の人数1,646万人が2025年には533万人増えて2,179万人に達すると予想されています。高齢化率も今日の26・8%から30%を超えそうです。2000年にスタートした介護保険制度ですが、当初の財政3・6兆円が今日では10兆円を超える介護市場になり、サービス受給に多少のブレーキがかかるかもしれません。現在、国は制度の維持と高齢社会対策として「地域包括ケアシステム」の推進を図っています。「施設、病院から地域、在宅へ」「住み慣れた地域で最後まで」を motto に在宅、地域で受けられる医療

信望愛



いずみの園 since1978

それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは愛である。

コリントの信徒への手紙 I 13:13

いずみの園のサービス・コンセプト (私たちの取り組み)

- ① アメニティ(快適主義) 快適なサービス、快適な環境、笑顔のサービスを提供します。
- ② ヒューマニティ(人間主義) 心と体の自由を尊重、一人ひとりの尊厳性を大切にしたサービスの提供を行います。
- ③ ローカルティ(地域主義) 地域と共に歩み、地域の福祉拠点としての役割を果たします。

と介護の連携サービスの整備を目指しています。

さて、高齢者とは何歳から言うのでしょうか。実はその定義はありません。国連、WHOが高齢化の国際比較のために統計用として65歳以上を高齢者としたのが始まりです。日本では、高年齢者雇用安定法は55歳から適用となり、厚生年金は当初55歳支給から現在は65歳支給に引き上げが進んでいます。高齢者医療保険は70歳ですが2008年には、75歳後期高齢者医療保険制度が発足しました。55歳以上を対象とした「高齢者とは何歳か」の意識調査(2012)では、75歳が28・7%、80歳が26・7%と合わせて半数を超えています。昨年6月の日本老年学会では「最新の科学データでは高齢者の身体機能や知的能力は年々若返り、10

と介護の連携サービスの整備を目指しています。



2毛作会外出行事



2毛作会しめ縄づくり

20年前に比べて5~10歳は若返っていると想定される。このような人々が就労やボランティア活動など社会参加できる社会をつくるのが大切」と声明を出しました。いずみの園では昨年、団塊の世代を対象としたボランティアグループ「2毛作会」が発足しました。定年を迎えた人たちが子どもたちとお正月のしめ縄や竹とんぼを作ったり、デイサービスで食事介助をしたり2毛作目のやり甲斐を見つけていただいています。

社会福祉法人 九州キリスト教社会福祉事業団 2016年度 法人本部事業計画

1. 基本方針

『福祉の街づくりを目指して』

—社会福祉法人の

存在意義が問われる中で—

2012(平成24)年の「社会保障と税の一体改革」閣議決定以来、未来への投資として子ども子育てが社会保障の四本目の柱に加わり、限られた財源の中で年金、医療、介護の効率化、重点化が求められました。これからの社会は自助、互助を基礎として人々の自立を図り全員参加型社会、地域福祉の充実を目指しています。また公益法人の見直しが進み公益社団法人、公益財団法人の新設につき特別公益法人である社会福祉法人の改革に視点が移りました。

その後、日経新聞の特養3億円内部留保金問題に端を発し、社会福祉法人の不正問題がスキャンダル的に新聞報道されるなど今日の社会福祉法人の在り方が問われました。社会福祉法人の位置づけ、役割の見直しが始まり、社会福祉法の改正案が国会に上程されました。財務諸表の公表など経営の透明化、理事会の責任や評議員会の議決機関化など法人経営のガバナンスの強化、社会貢献地域公益活動の責務化などが謳われ、社会保障改革国民会議では「社会福祉法人こそ経営の近代化、合理化が必要」と指摘されました。

社会福祉法人の存在意義が問われる中、社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団は「キリストの愛と奉仕」を基本理念としてこの50年一貫して地域の福祉向上に努めてきました。法人創設以来の3保育園、学童保育等の児童福祉、先進的な取組が評価されるいずみの園の高齢者福祉、そして3年前に事業開始した障害者福祉とそれぞれが地域福祉の拠点として事業を展開してきました。

超高齢社会を前に、脱病院、脱施設を目指した国の「地域包括ケアシステム」では、24時間在宅ヘルパーサービス事業(通い・泊まり・訪問)の小規模多機能型居宅介護事業を全国でも先駆的に取り組みました。さらに厚生労働省は新たに2015年9月、「新たな時代

に対応した福祉の提供ビジョン」を発表しました。複雑化、多様化する社会のニーズに対応し、高齢・障がい・児童の垣根を越えた支援の提供を行う総合福祉のビジョンです。

「いずみの園」が2012年に策定し今日まで取り組んできた『いずみの園新5か年プラン』は厚生労働省の新たな福祉ビジョンの先取りともいえます。また、3保育園は待機児童、保育士不足が社会問題化する中でキリスト教理念のもと着実に地域の信頼を得、事業を進めてきました。子育て支援が社会保障制度の四本目の柱となった今日、「めぐみ保育園」「グレース保育園」「犀川のぞみ保育園」においては、保育の質の一層の向上を図り、「いずみの園」と共に地域の中にあつて福祉の街づくりを目指してまいります。

2. 重点目標

- ① 中津総合ケアセンターいずみの園事業の確立
「新5か年プランの推進」
 - ② 地域包括ケアシステム事業の推進
「住みなれた地域で最後まで」
 - ③ 共生型サマリア館事業の確立
「共生型地域交流スペース・多世代間の交流」
 - ④ 障がい(共生)サービス事業の拡充
「元気に働いて社会的自立」
 - ⑤ 経営基盤の確立、適正利益の確保
「経営基盤、組織体制の確立」
 - ⑥ 人材の確保、育成、やりがいのある職場作り
「活き活きとした職員、地域での役割」
 - ⑦ 組織変更
- ### 3. 法人本部事業計画
- (1) 理事会の開催
年4回(5月、8月、1月、3月)
 - (2) 評議員会の開催
年4回(5月、8月、1月、3月)
 - (3) 監事の監査
年1回(5月)
 - (4) 役員の研修

(5) 後援会活動の強化 事業団だよりの発行

4. 組織

(1) 本部 大分県中津市永添2744番地
特別養護老人ホームいずみの園

(2) 役員

- 理事長 富永 健司
- 理事 木村 武夫
- 坂田 弘光
- 滝口 真
- 橋本 高幸
- 金枝 豊治
- 監事 池上 信也
- 清源万里子
- 島田 晋
- 多田 玲子
- 堤 健生
- 廣安慎太郎
- 有馬 健
- 末延 政光
- 大継 徹朗
- 齊藤 昭夫
- 出納 皓雄
- 田邊 久伍
- 富永 健司
- 福成 清子
- 堂本 高雄
- 小松 証子
- 木村 武夫
- 坂田 弘光
- 滝口 真
- 谷 直美
- 橋本 高幸
- 松本 新子
- 齊藤 昭夫
- 島田 晋
- 多田 玲子
- 廣安慎太郎
- 山口 貞嘉

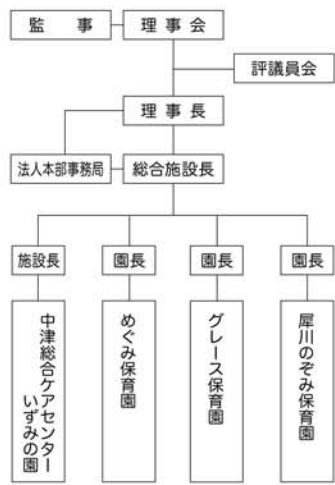
(3) 評議員

- 池上 信也
- 大継 徹朗
- 齊藤 昭夫
- 坂田 弘光
- 滝口 真
- 谷 直美
- 橋本 高幸
- 松本 新子

(4) 事務局

- 有馬 健
- 末延 政光
- 堂本 高雄
- 小松 証子

5. 組織図



2016年度 いずみの園事業計画

1. 基本方針

『新5か年プランの総括と地域づくりへの参画』

2012(平成24)年、国の第5期介護保険事業計画(～2014)施行時に「いずみの園新5か年プラン」を策定し、国の地域包括ケアシステムの推進を図るため定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業(24時間ヘルパーサービス)をスタートさせました。2013年には名称を中津総合ケアセンターいずみの園に変更し障がい者就労継続支援事業(A・B型)を開始、福祉の総合化を図りました。

第6期(2015～17)介護保険事業計画時には2015年に蛸瀬にサマリア館が完成、高齢者・障がい者デイに加え児童発達支援・放課後デイ事業、地域子育て支援センター事業がスタートしました。ここには地域住民の交流スペースもあり多世代・共生型地域交流センターになっています。同年4月、地域公益課を新設し制度の谷間にあると言われる生活困窮者、ホームレス、一人親家庭支援も開始しました。

同年9月、厚生労働省は次代の社会保障制度を目指して「新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン」を発表しました。このプランはいずみの園の新5か年プランと同一路線にあり、最終年度新5か年プランの総括を図りつつ、厚生労働省の新ビジョンを推し進めます。また、中津市は介護予防、地域支援事業を本格化させ総合事業を推進、お元気高齢者の地域参加、生きがいづくりを始めます。

2年後の2018年は介護保険制度第7期となり、介護保険と医療保険の(報酬等)同時改訂、社会福祉法人制度の改革など社会保障制度の大きな変革期となります。またこの年、いずみの園は創設40周年を迎えます。2000年に制定されたいずみの園の第3コンセプト「ローカリティ」の地域密着を推進し、地域参画、福祉の地域づくりを図ります。

2. 重点目標

①いずみの園新5か年プランの総括

- ・中津総合ケアセンターいずみの園構想の推進
- ・地域包括ケアシステムの推進
- ・中津市総合事業、地域支援事業の推進
「元気・要支援老人対策」
- ・認知症施策推進事業
- ・地域公益課事業「おおいたくらしサポート事業」の推進

②共生サービス事業の推進

- ・就労継続支援事業の拡充
- ・生活介護事業、グループホーム事業の推進
- ・サマリア館事業の推進

③厚労省「新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン」の研究

- ・新しい地域包括支援体制
- ・高齢・障がい・児童への総合的支援
- ・事業の効率性、生産性

④経営基盤の確立—社会保障費削減時代へ

- ・経営の近代化・合理化
生産性、効率性、先駆性(企業経営に負けない)
- ・各事業部の経営分析と見直し
- ・経費節減、費用対効果、適正利益の確保
- ・法人本部機能、経営企画室の役割

⑤人材確保・育成対策の継続

- ・WLB(ワーク・ライフ・バランス)の推進
- ・人材確保関連具体化検討チーム活動の継続
介護・福祉講座(小中高大)、体験実習、貸付金制度、潜在(離職)介護人材対策
再就職準備金制度
- ・高校新卒職員育成プログラム
- ・韓国大卒人材の導入
- ・中間管理職講座の継続
- ・メンタルヘルス計画の推進、安全衛生委員会の活性化

⑥地域参画、地域との連携の推進—福祉の街づくり

- ・雇用創出と地域貢献
- ・生産性のある事業と地方創生「いずみの園ブランド」
社会貢献、魅力ある職場、Uターン
- ・2毛作会の育成、団塊の世代、社会貢献、総合事業との連携
- ・行政との連携の強化
- ・経済(商工会議所、青年会議所、中小企業家同友会、法人会)
教育(大学、専門学校、高校、支援学校、PTA)
医療、社協、政治、警察、消防、農業、文化との連携



九州キリスト教社会福祉事業団 2015年度献金報告

(敬称略させていただきます)

● 個人・団体の部 ●

青木 百合子	勝田 祥次郎	多田 玲子	福岡市民クリスマス 実行委員会	吉田 秀久
泉 琉江 遺言執行者田中慶哉	木佐貫 重子	築城 滋		吉高 かのう
憐一粒社ヴォーリズ 建築事務所	木佐貫 佳子	富田 真理子	福永 みよ子	吉高 國彦
	木村 俊子	中西 悦子	本間 都志輝	吉高 美籠
	國政 一代	中野 佐代子	松本 キヨ子	盆踊り御仏前 (匿名希望)
糸永 マスミ	熊野 紀子	西内 久男	三浦 一郎	
稲益 大希	後藤 和子	西野 貞雄	三角 仁文	
稲益 九重	小西 美智子	橋本 健二	南 眞一	
伊庭 良枝	齊藤 昭夫	橋本 利七郎	宮崎 千枝子	
白杵 孝	佐田 園美	橋本 高幸	守田 收	
大塩 進也	佐藤 智子	花崎 道子	森分 直樹	
大野 敏郎	四熊 フサ	原 成市	安田 薫	
岡崎 薫	柴原 章子	原 諭美	矢野 清子	
岡本 敏子	島津 良一	東 よしみ	山下 猛	
(有)オーツ一	末廣 忠士	廣安 慎太郎	山城 順	
柿原 康一	篠原 シズ子		山本 朝子	

● 教会関係の部 ●

(教会：大分県内)	長崎 銀屋町教会	(学校・保育園・幼稚園)	戸畑教会婦人部
日出 教会	西都 教会	いずみの園フェスタ	福岡中部教会婦人会
宇佐 教会	八代 教会	グレース保育園つくしの会	北九州復興教会女性会
三重 教会	福岡女学院教会	めぐみ保育園	門司教会婦人会
大分 教会	福岡城東橋教会	愛隣幼稚園	門司大里教会 壮年部・女性部
中津 教会	福岡渡辺通教会	周船寺第二幼稚園	
中津扇城教会	北九州復興教会	福岡女学院中学・高校 宗教部	
別府不老町教会	門司 教会	弥生幼稚園	
由布院 教会	門司大里教会		
	九州教区事務所		
(教会：九州)		(教会婦人会)	
福岡中部教会	(教会：九州以外)	津屋崎教会女性の会	
宮崎 教会	岡山信愛教会	宮崎清水町教会女性の会	
宮崎清水町教会		佐世保教会女性会	
錦ヶ丘 教会		小倉東篠崎教会婦人会	

献金のお礼とお願い

今年度も当事業団の働きのために多額の尊いご献金を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、ご高承のとおり、昨今の福祉を取りまく環境は厳しい状況にありますが、いずみの園や各保育園の諸事業の働きは、全て順調に推移しております。これもひとえに、常日頃ご支援いただいております皆様のお陰と、関係者一同心より感謝しております。

いずみの園では昨年、「共生社会」の実現をめざして、高齢者、障がいのある児・者、子ども・子育て中の母親への支援及び地域の方の三世代の交流の場づくりとして「福祉の里センター サマリア館」を新築し、4月より事業を開始いたしました。

今後とも、皆様の絶大なる御支援御加禱の程、よろしくお願い申し上げます。

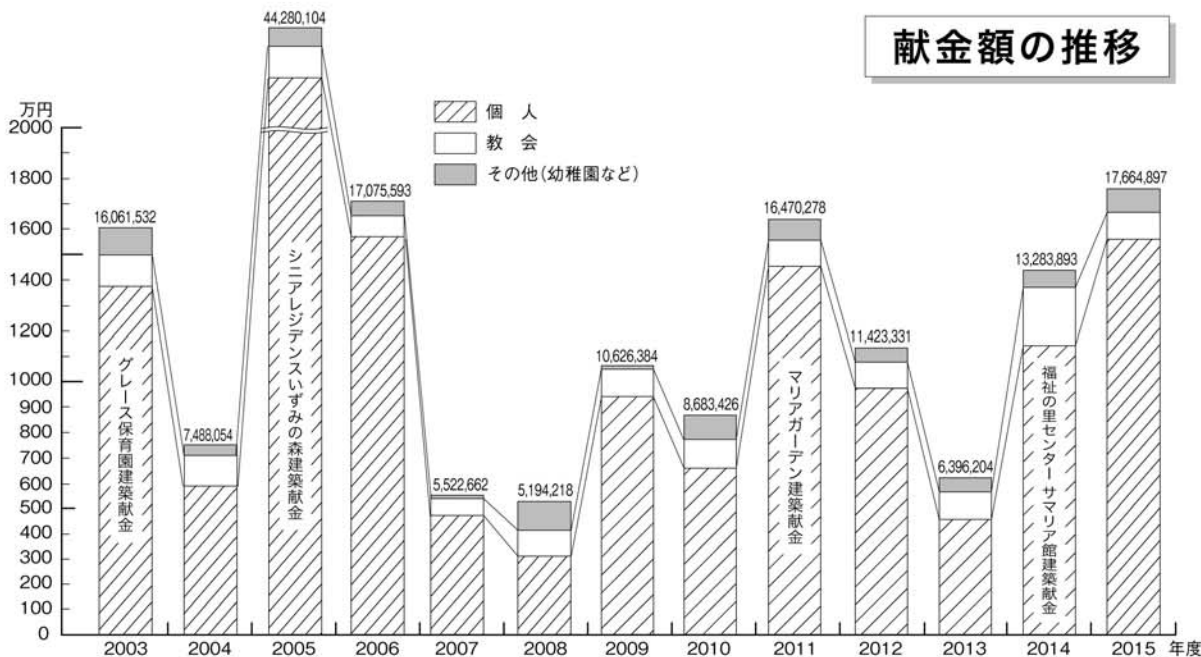
二〇一六年四月

理事長 富永 健司

献金額の推移

単位:円
2003年度 16,061,532
2004年度 7,488,054
2005年度 44,280,104
2006年度 17,075,593
2007年度 5,522,662
2008年度 5,194,218
2009年度 10,626,384
2010年度 8,683,426
2011年度 16,470,278
2012年度 11,423,331
2013年度 6,396,204
2014年度 13,283,893
2015年度 17,664,897

献金額の推移



▼ 献金のご案内 ▲

【献金使途】

- 1 法人のため
- 2 特別養護老人ホームいずみの園のため
- 3 ケアマンション聖愛ホームのため
- 4 めぐみ保育園のため
- 5 グレース保育園のため
- 6 犀川のぞみ保育園のため
- 7 その他

【送金方法】

- ① 現金送金
大分県中津市永添二七四四
いずみの園内
- ② 銀行振込
大分銀行 大貞支店
口座番号 普 6379
- ③ 郵便振替口座払込
口座番号
01750・8・130861

【名義】

社会福祉法人
九州キリスト教社会福祉事業団
理事長 富永 健司

(この寄付金は所得税法及び法人税法により税の控除の対象となります)

ケアマンション 聖愛ホーム

ホーム長 森 光徳



20周年記念行事

この4月より、この春退職された熊井カホルホーム長の後任として、ホーム長に配属されました森と申します。気持ちも新たに皆様の幸せ創りのために押し進めていきたいと存じます。

私と聖愛ホームとのかかわりは、24年前、現在の聖愛ホームの前身である津屋崎聖愛ホームに夏休みに子供たちを連れ、義父が勤める管理棟や津屋崎海岸にて過ごした思い出です。それから数年後、いずみの園に聖愛ホームが新たな形で甦りました。そして、この度、聖愛ホームに関わることにになりましたのも、神様のお導きだと思います。

聖愛ホームでは昨年、20周年のお祝い皆様で行い、また外壁等の修復も行いました。現在68歳の方から97歳の方まで50名の方々が入居し生活をなさっています。一人ひとりが神様に繋がっていて、この場所に集っています。神様のご縁でつながった皆様を乗せた聖愛号で神様の栄光の道を航海します。快適な棲家として人生の重荷や疲れからこの聖愛ホームにてしばし憩っていただきたいと思います。

めぐみ保育園 (大分東教会)

園長 島田 晋

2015年度には子ども・子育て新制度が始まり、認定こども園が発足しました。「保育園落ちた、日本××」で代表される「待機児童対策」が、多くの人々の関心の的となりました。めぐみ保育園では、大分新産都の中心に在って、今しばらく保育の業に専心したいと考えています。

3月19日に22名の園児が「卒園式」を迎え、4月5日に10名の新入園児を受け入れ、「第49回入園式」を挙行しました。園庭の大型遊具の塗装工事が完了し、オレンジを基調とした鮮やかな色合いを取り戻しました。園庭にある桜の老木も見事に満開となりました。新年度園児数は123名でスタートします。

3月末で、下川明美副園長(15年間)・幸久美子主任保育士(35年間)・草津仁美保育士(5年間)が退職しました。いずれも保育園の中枢にあつて、保育の業を牽引し、めぐみ保育園を代表する職員としての働きを長年にわたりました。お働きに感謝し、今後の歩みの上に主の御加護があるよう祈ります。



園舎玄関

犀川のぞみ保育園 (犀川教会)

園長 池上 信也



内外の様子がよく見える新しい玄関

が、幸いにも途中入園児が次々に与えられ、3月は定員を超える43名となりました。7名の卒園児と4名の退園児を送り出し、4月に7名の新入園児を迎えて39名で2016年度を始めます。感謝です。

昨年度から開始した休日保育は祝日毎に1、7名の利用があり、今年度も継続して取り組めます。昨年は日曜の利用がありませんでしたが、今年はすでに日曜出勤のお母様から利用希望を承っています。

昨年下半年の予想外の財政好転で、懸案の玄関扉(園児出入口)改修や大型遊具の整備に着手することができました。また4月からクリスチャンの保育士が1名入職しますので、ソフト面もハード面もますます充実させて、犀川の子どもたちに最高のキリスト教保育を提供できる園として事業を継続できまますよう、どうぞ祈りに覚えておえください。

グレース保育園 (中津教会)

園長 廣安慎太郎

3月19日、第42回卒園礼拝がもたれ、22名の園児がグレース保育園を卒園しました。今年度は新入園児23人を迎え、新年度がスタートします。新年度の年主題は「平和とともに」(エフエソ2:14)と掲げました。

人の成長の中で一番大切なのは、「自分を愛し思いやりをもった人」になることだと思えます。「心」は教育というより、沢山の愛情を受けて育まれるものです。

やさしく接してもらった子どもは他のお友だちにやさしくなれます。神様の恵みを感じる保育・神様の愛を感じる保育を行いたいと思えます。愛で満たされた子ども達が、平和を実現していく人に育つことを願っています。



卒園式の様子

キリストの平和が子どもたちの心のすみずみにまでゆきわたりますように。いつも、グレース保育園をお支え下さりありがとうございます。ご